

ワシントンで働く女性の会（J-WIP）第2回会議報告

ワシントン日本商工会企画担当理事
安井真紀

去る4月6日、ワシントンDCで働く女性の会（**Japanese Women in the Professions in Washington D.C. (J-WIP)**）の第2回会議をワシントン市内で開催しました。

今回、スピーカーとして、アジア社会政策研究所（**Asia Society Policy Institute**）の**Vice President**兼ワシントンDCオフィス**Managing Director**のウェンディ・カトラー氏をお迎えしました。カトラー氏は、米国通商代表部（**U.S. Trade Representative**）米国通商代表補として、先の**TPP**交渉において米国を代表して日本を含む各国との交渉を担当されました。

会議の冒頭、久能祐子氏（**S&R Foundation**）よりカトラー氏のご紹介を賜り、その後、カトラー氏より、国家間の通商交渉とはどういうものか、交渉を成功させる秘訣、ビジネスにおけるダイバーシティの重要性等につきご講演いただきました。関連する様々なトピックにつき、参加者と意見交換する中で、カトラー氏が、参加者からのご質問やご意見の一つ一つに、丁寧に答えられていたのが印象的でした。最後に、ワシントン日本商工会の堂ノ協会長より、**J-WIP**に対する期待についてお話をいただき、盛会のうちに終了しました。当日は、商工会会員を含む、男性・女性**55**名の方々にご参加いただきました。



【参加申込先・お問い合わせ先】

J-WIPでは引き続きメンバーを募集しております。ご関心のある方、以下連絡先までメールでご連絡ください。お待ちしております。

企画担当理事：安井（m-yasui@jbic.go.jp / mkysi.makimaki@gmail.com）

商工会会員：酒向（yuki.sako@klgates.com）